道徳教育・心の教育　研究指定校の研究テーマ等一覧

都道府県名	1　北海道	学校名	旭川市立東五条小学校	校　長　名	菱　山　裕　二
学校所在地	〒070-0025 北海道旭川市東５条５丁目			電話番号	0166－26－0295
最寄り駅	ＪＲ宗谷線　新旭川駅　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0166－26－0296
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 9 月 20 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かなかかわりを通して自己の生き方を考える子の育成 ～道徳科の学習において～				
研究の概要	目指す子ども像を「本気になって自己を見つめる子」（本気）「生活とつなげようとする子」（意識）として、事前・事後の教育活動と一単位時間の授業との関連を図る工夫や、多様な指導方法で児童の問題意識を高める工夫を位置付けるなど、ねらいを明確にした授業づくりを推進している。				

都道府県名	1　北海道	学校名	新冠町立新冠小学校	校　長　名	品　田　和　輝
学校所在地	〒059-2402 北海道新冠郡新冠町中央町20－１			電話番号	0146－47－2103
最寄り駅				ＦＡＸ番号	0146－47－2201
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 17 日
研究テーマ (サブテーマ)	自分の思いや考えを、自分の言葉で伝え合える子どもの育成』 ～アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業づくりを通して～				
研究の概要	「道徳科の学習において、年間指導計画別葉を効果的に活用するとともに伝え合う場や伝え方などの言語活動を工夫することにより、互いの価値観を認め合い、高め合うことができるであろう。」と研究仮説を設定し、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業づくりや、年間指導計画別葉の効果的な活用、保護者・地域等との連携についての実践検証を積み重ねている。				

都道府県名	1　北海道	学校名	鶴居村立幌呂小学校	校　長　名	上　坂　　寛
学校所在地	〒085-1142 北海道阿寒郡鶴居村幌呂東４丁目14番地			電話番号	0154－65－2014
最寄り駅	釧路駅　（バス60分）			ＦＡＸ番号	0154－65－2047
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 8 月 28 日
研究テーマ (サブテーマ)	本気で思いを伝え受け止めようとする子どもの育成 ～伝えた喜びを実感できることを目指した授業づくり～				
研究の概要	主体的で、学校での出来事や学習内容を子供達が家庭で話をしたくなるような姿を「本気」と捉え、教師はそのための課題や対話場面を工夫して設定した授業づくりを行う。この姿から自分の思いを友達に伝え、そして、友達の思いを自分事として受け止める姿が日常的に見られることを目指し、且つ、これからの社会で活躍していける子供を育てたいと考える。				

都道府県名	1　北海道	学校名	函館市立北日吉小学校	校　長　名	瀧　澤　義　守
学校所在地	〒041-0841 北海道函館市日吉町４丁目５－５			電話番号	0138－55―0924
最寄り駅	ＪＲ函館駅　（バス25分）			ＦＡＸ番号	0138－55－4863
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 12 月 1 日
研究テーマ (サブテーマ)	共に学び合い，自らを高めていく子どもの育成 ～頭が働き，心が動く授業を通して～				
研究の概要	研究テーマは、本校の重点教育目標である「共に学び　高め合う　北日吉の子」を踏まえ、共に学び合いながら、「道徳性（内面的資質）を培うことにより、自らを高めていく(よりよい行為)」子どもの育成を目指していくこととした。 研究内容は、「道徳性を培うための授業の『ねらい』にせまる発問の工夫」を、２年目の研究内容の重点としている。				

都道府県名	3　岩　手	学校名	大船渡市立大船渡小学校	校　長　名	長　澤　敏　之
学校所在地	〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字笹崎67			電話番号	0192－26－3524
最寄り駅	ＢＲＴ　大船渡線　大船渡駅　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0192－26－3623
指定の種類		研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 2 日
研究テーマ (サブテーマ)	より良い自分を思い描き主体的に判断し実践する子どもの育成 ～道徳科における発問と話合いの工夫と評価を通して～				
研究の概要	＊本研究発表は、岩手県道徳教育研究会からの公開研究依頼により実施。 ◎研究目標 道徳科において、授業のねらいを明確にもち、ねらいに迫るために発問や話合いを工夫すること、書く活動を生かした評価を指導過程に位置付けることで、より良い自分を思い描き、主体的に判断する子どもを育成する指導の在り方を実践的に明らかにしていく。 ◎研究内容 ・道徳科のねらいを明確にもつこと。[ねらいの明確化] ＊教材のどこから学ばせるか　＊自己の生活にどうつなげさせるか ・ねらいに迫るために効果的な発問を工夫すること。[発問の工夫] ＊中心発問（展開前段）　＊自己を見つめる発問（展開後段） ・ねらいに迫るために話合いを工夫すること。[話合いの工夫] ①考えを言い合う　②友達の考えに対し感想を話す ③共通点や異なる点を話し合う　④ペア、グループで結論をまとめる ・書く活動を生かした評価を指導過程に位置付けること。[評価の位置付け] ＊主に中心発問で評価　＊主に自己を見つめる発問で評価 ・道徳科の評価の活用 ＊道徳教育の評価の一環　＊通信表、指導要録の参考資料 ＊児童の見取り、励まし　＊道徳科の授業検証・改善				

都道府県名	４ 宮 城	学校名	大崎市立古川第一小学校	校 長 名	千 葉 光 弘
学校所在地	〒989-6152 宮城県大崎市古川二ノ構７－67			電話番号	0229－22－2072
最寄り駅	東北新幹線 古川駅 （徒歩20分）			ＦＡＸ番号	0229－22－2082
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度 １年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 22 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ，主体的に判断する児童の育成 ― 自他と対話し，学び合う道徳科の授業を通して ―				
研究の概要	本研究は、道徳的価値について、児童が自分の経験や考えを基に、多様な考えに触れ、改めて自己を見つめ、主体的に判断していこうとする児童を育成するため、道徳科の学習指導の在り方を明らかにする研究である。教師が明確な指導観をもって授業を行い、授業実践を通して道徳科の指導法を構築していく。				

都道府県名	４ 宮 城	学校名	南三陸町立名足小学校	校 長 名	根 本 弘 美
学校所在地	〒988-0432 本吉郡南三陸町歌津字中山14			電話番号	0226－36－2009
最寄り駅	気仙沼線 陸前港 （タクシー10分）			ＦＡＸ番号	0226－36－3881
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度 １年間	研究発表日	平成 30 年 1 月 26 日
研究テーマ (サブテーマ)	心をつなぎ きらり輝く 名足っ子 ～みんなで学び合う道徳教育の実践をとおして～				
研究の概要	本校では、宮城県教育委員会より豊かな心を育てる研究指定校事業の指定を受け、道徳教育の研究に取り組んでいる。「道徳の時間における学び合いの工夫」「豊かな体験活動や実践活動の工夫」という２つの視点を設定し、「みんなで考え、進んで実行し、自信をもって生きる児童（きらりびと）」を育成するための指導の在り方を実践的に明らかにしたいと考えている。				

都道府県名	４ 宮 城	学校名	白石市立大鷹沢小学校	校 長 名	大 竹 春 生
学校所在地	〒989-0231 宮城県白石市大鷹沢三沢字五丁目24－１			電話番号	0224－25－3714
最寄り駅	東北新幹線 白石蔵王駅 （徒歩25分）			ＦＡＸ番号	0224－25－4052
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 11 月 28 日
研究テーマ (サブテーマ)	「思いやりとたくましさを持つ児童の育成」 ― 自他との対話の中で考えを深める授業実践を通して ―				
研究の概要	○研究の視点を次の２つに設定し、５つの手立てから研究テーマにせまろうと考えている。 （１）道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、考えを深める授業展開の工夫 ①児童が資料理解と課題意識を持つために、資料の事前読みを行う。 ②児童が考えを明確にするために、書く活動を行う。 ③児童が多様な考え方・感じ方に触れ、自己を見つめるために、探究的な対話の場面を設定する。 （２）意識調査、自己評価の活用の工夫 ①児童が自分自身のよさや他者との相違などを理解できるように、児童の自己評価の蓄積、掲示による共有を行う。 ②児童の道徳的実践意欲を高めるために、意識調査やワークシートを吟味・作成し、実践に活かすとともに分析する。また、児童への声がけと家庭との連携を図る。				

都道府県名	5 秋 田	学校名	秋田市立築山小学校	校 長 名	鈴 木 了
学校所在地	〒010-0026 秋田県秋田市楢山古川新町55－１			電話番号	018－833－4305
最寄り駅	秋田新幹線 秋田駅 (徒歩25分)			ＦＡＸ番号	018－837－7908
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度 １年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 29 日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的に学びあい、よりよい自分をめざす子どもの育成 ～道徳科の授業づくりを中心として～				
研究の概要	考えを深める道徳科の授業実践を行い、豊かな心をはぐくむための学習環境を整えることで、主体的に学びあい、よりよい自分をめざそうとする子どもが育成できるのではないかという仮説のもと、道徳科の授業づくりを中心として研究を進めている。「考えを深める授業づくり」のために心を揺さぶり、道徳的価値を多面的・多角的に考えさせる授業展開や評価の在り方について研修を積み、「豊かな心をはぐくむ学習環境づくり」のために、児童活動を中心とした体験活動の充実を図り研究を推進している。				

都道府県名	5 秋 田	学校名	秋田市立広面小学校	校 長 名	千 葉 学
学校所在地	〒010-0041 秋田県秋田市広面字蟹沢29番地			電話番号	018－833－0736
最寄り駅	奥羽本線 秋田駅 (バス10分)			ＦＡＸ番号	018－837－7919
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度 １年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 29 日
研究テーマ (サブテーマ)	つながり，高め合う学びの創造 ～対話を通して，考えを深める道徳科の実践を通して～				
研究の概要	本校では、「つながり、高め合う学びの創造」を研究テーマに掲げ、より深い学びを実現するための「考え、議論する道徳」の授業づくりを目指して研究を進めている。多様な感じ方や考え方に触れる対話的な学びの展開、思考を深め広げる発問や板書の工夫などを研究の重点とし、日々の授業実践に取り組んでいる。				

都道府県名	6 山 形	学校名	村山市立西郷小学校	校 長 名	秋 生 髙 志
学校所在地	〒995-0052 山形県村山市大字名取1217番地			電話番号	0237－55－2413
最寄り駅	奥羽本線JR村山駅			ＦＡＸ番号	0237－55－7325
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 11 月 20 日
研究テーマ (サブテーマ)	気付き，考え，実行する子どもの育成 ～道徳・特別活動を中核として～				
研究の概要	本校では、県・市の学校教育の方針、及び児童の実態を踏まえ、教育目標として「気付き 考え 実行する子供」を掲げて、学校経営を進めている。さらに、学校研究を学校経営の中核に据えて推進するねらいで、教育目標をそのまま研究テーマとしている。 研究を通して「気付き」にかかわる「生活や学習の中から子供自身が問題を見つける力」、「考え」にかかわる「問題を解決する方法を考える思考力」、そして「実行する」にかかわるは「考えたことを実行する実践力」の３つの力を育てたい。 これらの力を育てる中核的な教育活動として選択したのが、道徳教育の２本柱である道徳と特別活動である。知的な学びで道徳性を育てる道徳と、為すことによって道徳性を育てる特別活動を一体的に研究し、豊かな心と実践力を兼ね備えた子供を育てるべく、研究に取り組んでいる。				

都道府県名	6 山 形	学校名	尾花沢市立玉野小学校	校 長 名	横 尾 祐 一
学校所在地	〒999-4337 山形県尾花沢市大字鶴巻田580番地			電話番号	0237－28－2113
最寄り駅	奥羽本線　大石田駅　（バス25分）			ＦＡＸ番号	0237－28―2143
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　1年間	研究発表日	平成　年　月　日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、思いをもち、素直に表現できる子どもの育成 ～「考える道徳」「議論する道徳」の授業を通して～				
研究の概要	本校では、平成30年度から全面実施される「道徳科」に向け、道徳授業を見直し、「考える道徳・議論する道徳」の理解と実践に向け研究を推進する。そのための計画の概要は下記の通りである。 1　めざす道徳授業 道徳的な価値について、児童一人一人が自分事として考え、その思いを友達と語り合うことによって、自分の内面をより深く見つめ直し道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度を育てる。 2　研究の視点 〈視点1〉自分の思いを語り合える授業づくりの工夫 〈視点2〉子どもの思いを見取る評価の工夫 村山教育事務所と尾花沢市教育委員会指導主事の指導を受けながら、年間10回の校内授業研究会と研修会を通して、めざす授業の姿を明らかにし、研究成果を他校へ発信する。				

都道府県名	9 栃 木	学校名	さくら市立氏家小学校	校 長 名	北 原 博 司
学校所在地	〒329-1311 栃木県さくら市氏家2491番地			電話番号	028－682－2758
最寄り駅	宇都宮線　氏家駅　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	028－682－0329
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度　1年間	研究発表日	平成　年　月　日
研究テーマ (サブテーマ)	新しい学習指導要領の趣旨を活かした授業の展開 ～考える道徳の時間のよりよい授業を目指して～				
研究の概要	「特別の教科道徳」の実施に向けては、従来の道徳の授業観から「考え、議論する道徳」への変換が大きな課題である。白鴎大学の中山和彦先生の指導助言をいただきながら、道徳の授業の在り方にスポットをあて、児童自身や教師自身の道徳授業のイメージを変え、「考え、議論する道徳」の授業の実現に向け研究を行う。				

都道府県名	9 栃 木	学校名	市貝町立小貝小学校	校 長 名	小 筆 一 成
学校所在地	〒321-3413 栃木県芳賀郡市貝町文谷1188番地			電話番号	0285－68－0109
最寄り駅	真岡線　市塙駅より、バス・徒歩15分			ＦＡＸ番号	0285－68－4669
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成 30 年 11 月 2 日
研究テーマ (サブテーマ)	「共によりよく生きようとする児童を育てる道徳教育」 －主体的に考え、話し合い、互いに深め合う道徳教育の工夫－				
研究の概要	共に助け合い励まし合い、高め合っていける関係の構築を目指す。そのために、道徳の授業の中で他者の考えに耳を傾けることで生まれる気付き、共によりよい生き方を模索する姿勢を大切にした授業づくりを研究する。その際、小規模校としての特色を生かし、道徳の授業や各種行事の際に、担任以外の教職員や地域人材の活用を図る。				

都道府県名	9 栃　木	学校名	足利市立矢場川小学校	校　長　名	齋　藤　浩　史
学校所在地	〒326-0835 栃木県足利市里矢場町1998			電話番号	0284－71－3008
最寄り駅	東武鉄道伊勢崎線　野州山辺駅　（徒歩30分）			ＦＡＸ番号	0284－71－3591
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 11 月 14 日
研究テーマ （サブテーマ）	自己を見つめ、豊かな心でよりよく生きる児童を育てる道徳教育 （自分の考えをもち、友達と学び合える「道徳の時間」の工夫）				
研究の概要	「自分の考えをもち、友達と学び合える「道徳の時間」」を目指し、指導内容を充実し、質の高い効果的な指導方法を明確化することを通して、自分と同様に生きる他者と共によりよく生きるためのものの見方、感じ方、考え方つまり道徳的に思考・判断できる児童の育成を図るための研究を推進している。				

都道府県名	10 群　馬	学校名	太田市立鳥之郷小学校	校　長　名	城　田　茂　喜
学校所在地	〒373-0008 群馬県太田市鶴生田町83番地２			電話番号	0276－22－3303
最寄り駅	東武桐生線三枚橋駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	0276－22－3362
指定の種類	群馬県小中学校教育研究会小学校道徳部会	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 2 日
研究テーマ （サブテーマ）	自己を見つめ、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成 （道徳の時間における多面的・多角的な考えを引き出す指導の工夫を通して）				
研究の概要	道徳の時間において教材の登場人物に自我関与させ自分の考えをしっかりともたせたり価値に対するいろいろな考えを聞いたり交流させたりしながら自分の思いや願いを深めていく。このことにより児童は多面的・多角的な考えをもちよりよい人間関係を築くことができることを明らかにする。				

都道府県名	11 埼　玉	学校名	所沢市立北野小学校	校　長　名	石　井　伸　明
学校所在地	〒359-1152 埼玉県所沢市北野２－４－１			電話番号	04－2948－6012
最寄り駅	西武池袋線小手指駅　（徒歩18分）			ＦＡＸ番号	04－2948－6042
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 11 月 28 日
研究テーマ （サブテーマ）	豊かな心をもち、よりよい生き方を求める児童の育成 ～「考え、議論する道徳」の授業を通して～				
研究の概要	児童が道徳的価値について主体的に考えることができるように、教材に応じた問題解決型や体験学習型の授業づくりに取り組むとともに、評価についても研究していく。具体的には指導者を招いて各学期に１回ブロックごとの研究授業を、また夏季休業中の校内研修において模擬授業の研修を行う。３学期には大学の先生による道徳教育の講演会を実施する。				

都道府県名	11 埼　玉	学校名	蕨市立西小学校	校　長　名	舟　山　好　彦
学校所在地	〒333-0005 埼玉県蕨市錦町５－11－30			電話番号	048－442－2642
最寄り駅	ＪＲ埼京線　北戸田駅　（徒歩12分）			ＦＡＸ番号	048－442－2633
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～30年度 ３年間	研究発表日	未　定
研究テーマ (サブテーマ)	「自分のよさを知り、互いに認め合う児童の育成」 ～道徳的実践力を高める指導法の工夫～				
研究の概要	研究の仮説と手立て 仮説①「西小スタイル」を確立し、自らの考えをもとに、友達の考えのよさを伝える活動（ぽかぽかタイム）を授業展開に位置づければ、自分のよさを知り、互いに認め合う児童をはぐくむことができるであろう。 手立て１…西小スタイルによる共通指導（黒板の色分け・３つの柱立て・切り返しの発問・葛藤場面での指導法・「西小ワークシート」の活用）の徹底 ぽかぽかタイム（自分の考えをもとに、友達の考えのよさを伝え合う活動）の設定学習形態（ペア活動、小グループ活動、代表者発表等）の工夫 仮説②「西小年間計画別葉」を中心に、教育活動全体を通して計画的に道徳教育を進めれば、児童の道徳的実践力を高めることができるであろう。 手立て２…西小年間計画別葉（「西小ワークシート」と連携した道徳ファイルの作成、「家庭と連携した振り返りシート」の活用、他教科との関連を意識した道徳教育）を中心とした共通指導 各学年が年間１回授業研究を行う。授業研究の後には、研究協議会を行う。研究組織としては、３つの部に分かれて、研究を進める。授業研究部は、指導案の検討・西小スタイルの検討・ワークシートの型の検討等を行う。環境部は、「道徳コーナー」の設置・道徳コーナーで紹介するワークシートやプリントの作成や掲示等を行う。調査部は、アンケートの作成・アンケートの考察・実態分析等を行う。				

都道府県名	11 埼　玉	学校名	羽生市立井泉小学校	校　長　名	鳥　海　一　寿
学校所在地	〒348-0064 羽生市藤井上組270			電話番号	048－565－2320
最寄り駅	東武線　羽生駅　（バス・徒歩25分）			ＦＡＸ番号	048－565－1157
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成25年～26年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 31 日
研究テーマ (サブテーマ)	心豊かにかかわり、自他共によりよく生きようとする児童の育成 －「考え、議論する」道徳の時間の充実を図り、自己の生き方についての考えを深める－ ＝道徳科への移行をふまえて				
研究の概要	①　指導方法の工夫改善を図る ⑴　考えたくなる学習課題 ⑵　心情主義からの脱却 ・発問の工夫　　・自分事としてとらえる工夫 ・道徳ノートの活用 ⑶　多面的・多角的にみる授業のしかけ ②　道徳の時間と他の教育活動や家庭・地域との連携を深める ⑴　家庭、地域との連携 ・道徳だより　　・あいさつくつそろえ ⑵　体験活動 ・いいずみっこ宣言　　・様々な体験教室 ⑶　校内環境・教材教具の整備 ・道徳のコーナー　　・教材教具、指導案の保管 ・教科などとの関連を図る				

都道府県名	12 千　葉	学校名	千葉市立園生小学校	校　長　名	網　野　一　志
学校所在地	〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台９－30－１			電話番号	043－251－8140
最寄り駅	ＪＲ線　稲毛駅　（バス10分・徒歩15分）			ＦＡＸ番号	043－284－4971
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 12 月 7 日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的に考え、心豊かに生きる子供の育成 ～道徳における協同的な学びの場を通して～				
研究の概要	「主体的に考え、心豊かに生きる子供の育成」という本校の研究テーマを追究するために以下の４つの視点を設定した。視点１は「教材の選択と吟味、開発」、視点２は「学習方法の工夫」、視点３は「振り返りの工夫」、視点４は「教育課程・指導構想の工夫」である。また、いじめ防止対策及び命を見つめる道徳学習プログラムの作成、実践に取り組んでいる。				

都道府県名	12 千　葉	学校名	習志野市立香澄小学校	校　長　名	滝　田　勝　久
学校所在地	〒275-0022 千葉県習志野市香澄４－６－１			電話番号	047－451－6399
最寄り駅	ＪＲ新習志野駅　（バス15分）			ＦＡＸ番号	047－451－6363
指定の種類	自主研究	研究期間	平成６年度～29年度 23年間	研究発表日	平成　　年　　月　　日 （来年度公開予定）
研究テーマ (サブテーマ)	心が響き合う道徳の時間 ～道徳的価値を自分のこととして捉えることのできる考え議論する授業をめざして～				
研究の概要	「道徳的価値を自分のこととして捉えることのできる」授業を実践するためには、教師が資料の持っている価値を考え、提示方法を工夫し、発問を吟味する。そのことによって、より効果的に児童に道徳的な価値を捉えさせることができる。また、他者に共感しつつ自分自身で考える授業＝「考え議論する授業」を実践していく。				

都道府県名	12 千　葉	学校名	松戸市立金ケ作小学校	校　長　名	池　田　笑　子
学校所在地	〒270-2251 千葉県松戸市金ケ作317番地			電話番号	047－385－8886
最寄り駅	新京成線　五香駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	047－384－6875
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29年 11 月 15 日
研究テーマ (サブテーマ)	思考し、議論する道徳教育 ～ 自己との対話を深めるための板書の工夫を通して ～				
研究の概要	□新学習指導要領「内容項目」のブロック分担分析と全体共有 ・発達段階ごとのめざす姿、系統性の理解と本校児童の実態分析 □「特別の教科　道徳」の授業づくり（公開研究会として） ・聖徳大学大学院　吉本恒幸教授による理論研修２回実施 ・校内授業研究会（講師：吉本恒幸教授、渡邉功吉先生）７回10学級展開				

都道府県名	12 千　葉	学校名	八千代市立村上北小学校	校　長　名	湯　浅　修　光
学校所在地	〒276-0027 千葉県八千代市村上1113－１			電話番号	047－484－1780
最寄り駅	京成本線　勝田台駅　（バス・徒歩15分）			ＦＡＸ番号	047－484－1832
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 25 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな関わりを通してつながり合う道徳教育 ～自らはたらきかけ、共に生きる子どもの育成～				
研究の概要	道徳教育の研究の二つの柱 ［特別の教科　道徳］ 道徳的価値との関わらせ方を工夫して、子どもの心にしみ込む道徳の授業づくりをする。 ［道徳性を育てる実践］ 学習・交流・環境・安全の各観点から家庭や地域に参加をはたらきかけ、共にかかわり合う場を広げる。				

都道府県名	13 東　京	学校名	世田谷区立松丘小学校	校　長　名	北　村　　博
学校所在地	〒154-0016 東京都世田谷区弦巻３－23－12			電話番号	03－3429－4278
最寄り駅	田園都市線　桜新町駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	03－3429－5627
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 31 年 2 月　　日
研究テーマ (サブテーマ)	自他の生き方について考える子どもの育成 （各教科等と「特別の教科　道徳」の関連を意識した授業づくり）				
研究の概要	各教科等と「特別の教科　道徳」の関連を意識した授業づくりをし、実践していくことで、自他の生き方について考える子どもを育てることができる研究を進めているところである。				

都道府県名	13 東　京	学校名	調布市立多摩川小学校	校　長　名	安　藤　力　也
学校所在地	〒182-0025 調布市多摩川３－21－１			電話番号	042－481－7648
最寄り駅	京王線　京王多摩川駅　（徒歩７分）			ＦＡＸ番号	042－499－4183
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 20 日
研究テーマ (サブテーマ)	「豊かな心をもつ児童の育成」 ～広く、深く考える道徳授業を目指して～				
研究の概要	「考え、議論する道徳」の授業を目指して研究に取り組んだ。主に４つの視点（①道徳的諸価値について理解する。②自己を見つめる。③物事を多面的・多角的に考える。④自己の生き方についての考えを深める。）を設定し授業に盛り込み指導のねらいを明確にするなど授業改善に取り組んだ。				

都道府県名	13 東　京	学校名	国分寺市立第五小学校	校　長　名	太　田　圭　子
学校所在地	〒185-0032 東京都国分寺市日吉町１－30-５			電話番号	042－322－0045
最寄り駅	ＪＲ中央線線　西国分寺駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	042－325－4912
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 2 月 19 日
研究テーマ (サブテーマ)	自分を大切に、みんなを大切にする心豊かな児童の育成 ～「特別の教科道徳」の実施に向けて～				
研究の概要	平成27・28年度に国分寺市教育委員会研究協力校として２年間、そして28・29年度には東京都道徳教育委推進拠点校として２年間の研究に取り組んできました。自己肯定感や自尊感情が低い傾向にある児童の実態を踏まえ、上記の研究テーマを設定し、心豊かな児童の育成と、道徳をはじめとする教師の指導力向上に向けた指導法の研究を行い。授業研究を中心に研究を推進しています。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	川崎市立千代ヶ丘小学校	校　長　名	松　岡　広　記
学校所在地	〒215-0005 川崎市麻生区千代ヶ丘８－９－１			電話番号	044－954－1080
最寄り駅	小田急線　新百合ヶ丘駅　（バス・徒歩15分）			ＦＡＸ番号	044－954－4659
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 31 年　　月　　日
研究テーマ (サブテーマ)	伝えあい　認めあい　育ちあう　千代ヶ丘の子 （自分を見つめ　豊かにかかわる力を育む道徳教育）				
研究の概要	本校では、道徳の時間の指導方法を改善・充実させることが必要であると考え、研究を進めている。学校教育全体を通じて行う道徳教育という点も意識し、学校における様々な教育活動の中で、道徳的価値を見出し、意図的、計画的に道徳教育を推進し、豊かな心の育成をめざしている。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	淵野辺東小学校	校　長　名	岡　本　昭　三
学校所在地	〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺３丁目17番１号			電話番号	042－759－0377
最寄り駅	ＪＲ横浜線古淵駅　（バス・徒歩15分）			ＦＡＸ番号	042－759－2162
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～31年度 ３年間	研究発表日	平成 31 年度の予定
研究テーマ (サブテーマ)	他を尊重し、人としてよりよく生きようとする 子どもの育成をめざす道徳教育				
研究の概要	道徳の時間の授業づくりでは、「価値観」「児童観」「資料観」を丁寧に分析し、ねらいに落とし込んでいく作業に力を入れている。そうすることで明確なねらいに基づいた授業を行うことができ、適切な児童の見取りにつながると考えている。また道徳教育については、道徳の時間だけで育むものではなく、一時間の授業の中で種をまき、その種が将来出会うであろう様々な場面や状況において適切に表現できるよう、別葉に基づき、意図的・計画的に行っている。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	横須賀市立神明小学校	校長名	大津　晃
学校所在地	〒239-0832 横須賀市神明町407番地			電話番号	046－834－4315
最寄り駅	京浜急行線　京急久里浜駅　(徒歩10分)			ＦＡＸ番号	046－834－4468
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度　1年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 29 日
研究テーマ (サブテーマ)	他者とのよりよい関係を築いていこうとする 子どもの育成を目指した道徳教育 ～教材を多面的・多角的にとらえ、主体的に学ぼうとする授業の工夫～				
研究の概要	本校では、「築く」のではなく、「築いていこうとする」という視点を大切にする。家族や友達、先生、地域の方がいることで、ともに学び、考えを広げたり深めたりすることができる。これらのよさがわかれば、自らよりよい関係を築いていこうとすることができる自立した人間へと成長していくと考える。そのため、道徳の授業において教材を多面・多角的にとらえ、広く深く考えられるような児童の育成を目指し、主体的に学ぼうとする授業研究を進めていく。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	川崎市立南野川小学校	校長名	木下孝文
学校所在地	〒216-0001 川崎市宮前区野川2064			電話番号	044－788－5500
最寄り駅	東急田園都市線　鷺沼駅 JR南武線　武蔵中原駅　どちらからも (バス20分)			ＦＡＸ番号	044－799－5962
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	
研究テーマ (サブテーマ)	認め合おう！　みんなの思い ～相手のことを考えて行動できる子をめざして～				
研究の概要	様々な教育活動との関連をはかりながら、道徳の時間をはじめとする、各教科・領域の授業を充実させていくことで、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることを目指している。自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ、互いの人格を尊重し、他社と協力・協働する姿勢を育成する。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	横浜市立洋光台第二小学校	校長名	清水康男
学校所在地	〒235-0045 横浜市磯子区洋光台４丁目15番地１号			電話番号	045－833－1271
最寄り駅	ＪＲ京浜東北線洋光台駅　(徒歩７分)			ＦＡＸ番号	045－834－3895
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 2年間	研究発表日	平成 29 年 12 月 1 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、よりよい生き方を求めようとする子を目指して ～確かな価値把握と深い振り返りを目指した支援のあり方～				
研究の概要	全クラスの授業公開を通して ◎とらえたい価値の分析と児童の実態にあった資料 ◎価値把握の迫り方と自己開示を促す授業の展開 ◎より深い振り返りを目指した授業と支援 ◎「道徳教育全体計画」「道徳の時間の年間指導計画」「別葉」の見直し ◎道徳性に係る成長の様子を評価する方法 について研究をしていく。				

都道府県名	14 神奈川	学校名	横浜市立白根小学校	校長名	神倉 美智子
学校所在地	〒241-0004 横浜市旭区中白根１丁目９番１号			電話番号	045－951－2276
最寄り駅	相鉄線 鶴ヶ峰駅 （バス・徒歩20分）			ＦＡＸ番号	045－951－1206
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 24 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を主体的にみつめ、よりよい生き方を求めようとする心を育てる道徳教育 ～「考え、議論する道徳」の高まりと学力向上～				
研究の概要	子どもたちが主体的に考えるためのブロックごとの具体的な取り組みを設定し、研究を進めている。 低学年・自己の考え方や行動をふり返るための価値把握の工夫 中学年・学習の総合化全体を通して子どもを見取ることのできるふり返りカードの活用 高学年・日常を含め、指導過程全般を通して活用できるふり返り学習カードの工夫				

都道府県名	17 石 川	学校名	加賀市立山中小学校	校長名	木戸口 勲
学校所在地	〒922-0117 加賀市山中温泉上野町ル15の９			電話番号	0761－78－0441
最寄り駅	ＪＲ北陸本線 加賀温泉駅 （バス20分）			ＦＡＸ番号	0761－78－0460
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度 １年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 21 日
研究テーマ (サブテーマ)	心豊かに生きぬくやまなかっ子の育成 ～「考え、議論する道徳の授業」を通して～				
研究の概要	学習指導要領の改定を目前に控え、「主体的・対話的で深い学び」を念頭におき、「考え、議論する道徳」の実現に向けて、多様な考え方を生かすための言語活動や家庭や地域社会との連携による指導等に研究のポイントを置き取り組んでいる。				

都道府県名	17 石 川	学校名	能美市立粟生小学校	校長名	肩 恭子
学校所在地	〒923-0010 石川県能美市粟生町ロ45			電話番号	0761－57－0255
最寄り駅	ＪＲ北陸線 能美根上駅 （バス10分）			ＦＡＸ番号	0761－57－0422
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 24 日
研究テーマ (サブテーマ)	心豊かな児童の育成 ～学び合いのある道徳の授業を通して～				
研究の概要	◎研究の概要 道徳を中心とした豊かな心の育成 (1) 道徳の授業づくり ・児童が，ねらいとする価値に触れるための手立ての追求 ・多様な考え方を生かし学び合い・関わり合いのある授業の実践 ・ＩＣＴや映像資料などの効果的な活用 (2) 家庭・地域との連携 ・ゲストティーチャーの活用 ・地域とつながる学校行事 ・粟生カルタの活用 (3) 児童会との連携 ・児童主体のルール作り ・各委員会の取り組み				

都道府県名	19 山　梨	学校名	笛吹市立一宮西小学校	校　長　名	丸　山　泰　弘
学校所在地	〒405-0075 山梨県笛吹市一宮町東原330－２			電話番号	0553－47－0008
最寄り駅	中央本線　石和温泉駅　（タクシー20分）			ＦＡＸ番号	0553－47－0794
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～30年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 10 日
研究テーマ (サブテーマ)	「21世紀を生きる子どもたちの豊かな心の育成」 ～「自己との対話を深める」道徳授業の工夫を通して～				
研究の概要	「特別な教科道徳」の趣旨を踏まえた授業づくりに向けた取組として次のような研究を行っています。 「自己との対話を深める」問題解決的な学習過程として、見通す→考えをもつ→学び合う→つなぐを考え、その中で、発問の工夫を行っています。 また、書く活動、板書の工夫として、学習過程の視覚化と学び合いを活性化させるポイントの図式化やワークシート、道徳ノートの工夫なども行っています。				

都道府県名	21 岐　阜	学校名	可児市立旭小学校	校　長　名	吉　岡　　誠
学校所在地	〒509-0238 岐阜県可児市大森2078－３			電話番号	0574－62－0302
最寄り駅	ＪＲ太多線　下切駅　（徒歩20分）			ＦＡＸ番号	0574－62－0079
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 26 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、他者とともによりよく生きようとする子 ～人間関係づくりを基盤とした取組を中心として				
研究の概要	すべての教育活動は、温かい人間関係があってこそ成り立つ。そこで心を耕す道徳教育と具体的にどう行動すればよいかの研究・実践に取組んだ。具体的には ①人間関係づくり（お互いを認め合い、支え合う関係を築く学習活動の土台作り） ・話す、聞く、話し合う、仲間を認め合う力の向上を支えるためのソーシャルスキルトレーニング ・児童の実態と実態のねらいに合わせた集団活動、形態の工夫 ①仲間とともに自己を見つめる学習活動の在り方 ・道徳的諸価値の理解を促す発問の工夫 ・ねらいに迫る深めの発問の工夫 ・仲間の感じ方や考え方から自己を見つめる工夫 ②仲間とともに自己の生き方についての考えを深める学習活動の在り方 ・本時学んだ価値を自分の生活に引き寄せるための工夫 ・よりよい生き方を仲間とともに考える学習活動の工夫				

都道府県名	21 岐　阜	学校名	瑞穂市立本田小学校	校　長　名	堀　　幸　子
学校所在地	〒501-0236 岐阜県瑞穂市本田938番地			電話番号	058－326－3417
最寄り駅	東海道本線　穂積駅　（バス・15分）			ＦＡＸ番号	058－326－7752
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 24 日
研究テーマ （サブテーマ）	共に生きる喜びをつくりだす子の育成 ～全教育活動を通した道徳教育を土台とし、 主体的に互いの思いや考えを話し合い、深め合う道徳の時間の在り方～				
研究の概要	道徳の時間に関わって、児童の実態に即したねらいの明確化と物事を多面的・多角的に考える指導過程の工夫について研究を進めている。さらに、「土と光の学習」（総合的な学習の時間）における道徳性の育成、家庭や地域社会との連携によるボランティア活動などの道徳的実践の推進について研究を行っている。				

都道府県名	22 静　岡	学校名	島田市立六合東小学校 島田市立六合小学校	校　長　名	櫻　井　真　二 山　口　泰　弘
学校所在地	六合東小　島田市東町1200番地 六合小　　島田市道悦五丁目13番地１号			電話番号	0586－28－8735
最寄り駅	東海道線六合駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	0586－62－9132
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 22 日
研究テーマ （サブテーマ）	主体的に判断・行動し 他者とよりよく生きようとする児童の育成				
研究の概要	文部科学省道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業及び静岡県道徳教育推進事業として、六合中学校区の道徳教育の授業改善に二つの小学校と中学校での縦の接続と、家庭・地域の横の連携を土台に研究に取り組んだ。				

都道府県名	23 愛　知	学校名	一宮市立小信中島小学校	校　長　名	脇　田　尚　武
学校所在地	〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字南平口59番地			電話番号	0586－28－8735
最寄り駅	名古屋鉄道　名古屋本線　名鉄一宮駅 （バス15分・徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0586－62－9132
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成27年度　１年間	研究発表日	平成 27 年 11 月 26 日
研究テーマ （サブテーマ）	「子どもをとらえ、よさを伸ばす『道徳の時間』の在り方」 （「特別の教科　道徳」に向けての授業づくりと評価方法の研究）				
研究の概要	本校では、研究を深めるため大学より講師を招き、道徳教育全般についての研修を行った。内容としては、よりよい授業法の研究、評価方法、道徳をとりまく情勢について等である。この中で、授業法については特に「役割演技」について指導を受け、授業のねらいに迫る有効な手だてとして、研修・実践が繰り返された。				

都道府県名	23 愛　知	学校名	岡崎市立竜美丘小学校	校　長　名	鈴　木　　明
学校所在地	〒444-0873 岡崎市竜美台１－１			電話番号	0564－52－1275
最寄り駅	名鉄名古屋本線　男川駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	0564－52－1285
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 8 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をもち、21世紀をたくましく生き抜く子どもの育成 ―道徳科の授業を中核とした教育課程を通して―				
研究の概要	年間計画では、内容項目の偏りを無くし、関連する教科や活動も明記した。道徳科の授業では、意識の流れを大切にし、発問や板書を工夫した。評価では、伸ばしたい児童を抽出し、その変容を見取ったり、児童自身が「１枚ポートフォリオ」にまとめたりした。				

都道府県名	23 愛　知	学校名	蒲郡市立西浦小学校	校　長　名	丸　山　幸　博
学校所在地	〒443-0105 愛知県蒲郡市西浦町宮地10番地			電話番号	0533－57－5275
最寄り駅	名鉄蒲郡線　西浦駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	0533－57－7991
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 31 日
研究テーマ (サブテーマ)	自他の違いやよさに気づき、思いやりの心をもてる子 ～心に響き、心を動かす指導の工夫～				
研究の概要	道徳の授業の在り方を見直し、「考える道徳」「議論する道徳」の充実に努めた。子どもの道徳性は、学校・地域・家庭の中で学び育っていくものであると捉え、本校の地域や家庭との交流が多く結びつきが強いという利点を生かし、「西浦で学ぶ、西浦の道徳」を構想した。さらに、他の教科・領域と絡めた道徳教育の計画を見直し、実践することを通して、めざす子どもの姿に迫った。				

都道府県名	23 愛　知	学校名	春日井市立坂下小学校	校　長　名	松　原　鎭　也
学校所在地	〒480-0305 愛知県春日井市坂下町５丁目324番地			電話番号	0568－88－0001
最寄り駅	ＪＲ中央線　高蔵寺駅　（バス15分）			ＦＡＸ番号	0568－88－0002
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 2 月 1 日
研究テーマ (サブテーマ)	「子どもをとらえ、よさをのばす『道徳科』の授業と評価の在り方」 －道徳的価値の自覚を深める授業づくりを通して－				
研究の概要	研究テーマを「子どもたちをとらえ、よさをのばす『道徳科』の授業と評価の在り方」とし、その中でも特に道徳の時間の指導を中心に研究を進めた。外部講師を招聘し、道徳資料の教材研究や指導方法、評価の在り方について校内研修を重ね、道徳の授業力向上をめざした。また、各教科や領域、特別活動の指導を充実させ、学校教育全体で道徳教育推進を図った。				

都道府県名	24 三　重	学校名	桑名市立星見ヶ丘小学校	校　長　名	山　田　芳　昭
学校所在地	〒511-0912 三重県桑名市星見ヶ丘八丁目			電話番号	0594－32－6311
最寄り駅	近鉄名古屋線　桑名駅　ＪＲ関西本線　桑名駅 （バス・徒歩　20・６分）			ＦＡＸ番号	0594－32－6312
指定の種類	群馬県小中学校教育研究会小学校道徳部会	研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 30 年 2 月 2 日
研究テーマ （サブテーマ）	「自己を見つめ、心を重ねて考え、ともによりよく生きる『星っ子』の育成」 －道徳科の特質を生かした「主体的・対話的で深い学び」となる授業の工夫－				
研究の概要	道徳科の特質を生かした「主体的・対話的で深い学び」となる授業の工夫に取り組んできた。学年の特性に応じた教材提示、児童の感想を生かした発問、ペア対話（役割演技）による話合い、板書構成など効果的な指導方法を工夫し授業実践を積み上げてきた。授業を通して、日常生活にも変化が見られるようになってきている。				

都道府県名	25 滋　賀	学校名	多賀町立多賀小学校	校　長　名	成　宮　敏　彦
学校所在地	〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀738番地			電話番号	0749－48－0004
最寄り駅	近江鉄道　多賀大社前駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	0749－48－0922
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 2 月 2 日
研究テーマ （サブテーマ）	自ら豊かな心を求め、よりよく生きることができる子どもの育成 ～考え、議論し自身を振り返ることで自己の生き方についての考えを深め、 自他を大切にする心を育む道徳の充実とその評価～				
研究の概要	「自主・礼節・根性」の校訓のもと、主体的に考え、対話や話し合いを通して学び合う道徳の授業について、３部会構成で研究を推進。子どもたちが自分ごととして考える中心発問の工夫、ワークシート等の教材開発およびポートフォリオを生かした評価のあり方、地域の教育力を生かした授業展開の創意工夫に取り組み教員の指導力を向上させる。				

都道府県名	25 滋　賀	学校名	湖南市立菩提寺小学校	校　長　名	松　浦　加代子
学校所在地	〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺1583番地270			電話番号	0748－74－1755
最寄り駅	ＪＲ草津線石部駅　（バス15分）			ＦＡＸ番号	0748－74－3678
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 27 日
研究テーマ （サブテーマ）	豊かな心を持ち、自己の生き方について考えることができる子どもの育成 ～ 一人ひとりの児童が自分事として向き合う道徳学習を通して ～				
研究の概要	平成30年度からの道徳の時間の教科化を見据え、「特別の教科 道徳」の授業づくりを核としながら、教育活動全体における道徳教育のあり方を検討し、子どもたちの道徳的価値の自覚を図り、道徳的実践力を高めていけるようにする。「自分事」をキーワードに、「授業づくり」「道徳環境・基盤づくり」「地域との連携」という視点から研究に取り組む。				

都道府県名	25 滋　賀	学校名	草津市立渋川小学校	校　長　名	宮　地　　均
学校所在地	〒525-0025 滋賀県草津市西渋川２丁目８－55			電話番号	077－566－6116
最寄り駅	ＪＲ琵琶湖線草津駅　(徒歩12分)			ＦＡＸ番号	077－566－6112
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 1 月 22 日 (中間発表)
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をもち、友だちや地域とつながり、よりよく生きようとするたくましい児童の育成 ～道徳科の時間における授業改善～				
研究の概要	３部会体制で研究に取り組み、これまでの道徳教育の検証を行い、道徳教育の全体計画の作成、年間指導計画の見直しをする。「自分がすき」という児童を育て、児童が互いに認め合う集団づくりのための話し合い活動や本物の体験活動の充実を図る。また、保護者・地域との連携、協力体制および校区内小学校との連携を推し進め、地域が一体となって児童を育てる道徳教育に取り組む。				

都道府県名	27 京　都	学校名	京都市立美豆小学校	校　長　名	高　嶋　　登
学校所在地	〒613-0916 京都府京都市伏見区淀美豆町1244番地			電話番号	631－7161
最寄り駅	京阪電鉄　京都線　淀駅　(徒歩18分)			ＦＡＸ番号	631－7162
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 12 月 5 日
研究テーマ (サブテーマ)	道徳的価値を自覚し、道徳的判断力をもつ子を育てる道徳教育 ～自分のよさに気付き、よりよく生きようとする子どもの育成～				
研究の概要	道徳教育に取組み今年で４年目を迎えた。昨年度は「特別活動における道徳教育の在り方」を文部科学省から指定を受け、体験活動を取り入れた協働活動を通して「自己有用感を高揚させ、よりよく生きるための道徳的判断力を養う」ための実践・研究・評価を進めた。今年度は京都市の指定を受けて、記述評価の試行実践を推進している。				

都道府県名	27 京　都	学校名	京都市立京北第一小学校	校　長　名	藤　田　弘　明
学校所在地	〒601-0251 京都市右京区京北周山町下寺田11			電話番号	075－852－0026
最寄り駅	東海道線　京都駅　（ＪＲバス・徒歩120分）			ＦＡＸ番号	075－852－1600
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 29 日
研究テーマ (サブテーマ)	気づき、考え、行動する子どもの育成 (よりよく生きようとする道徳的実践力を高める)				
研究の概要	・導入において、子どもの興味・関心を高める取組を行う ・指導者の発問を精選し、できるだけ少なくすることで道徳的価値への気づきや実践力の高まりへの話し合いを実践する。 ・展開後段の「自分の生活について考える」ことについては、ワークシートを活用すること（書く）によって、個別の支援を行ったり、自分のおもい・考えをまとめたりする。 ・「めあて」の提示によって、この時間に何を考えるかが明確になり、また、「ふりかえり」で学習のまとめを交流することによって、よりよい実践への意欲を持つようにする。 ・終末においては、指導者の創意工夫による学習のまとめをする。				

都道府県名	27 京　都	学校名	京都市立桂坂小学校	校　長　名	若　松　美　里
学校所在地	〒610-1102 京都市西京区御陵大枝山町二丁目１－52			電話番号	075－333－1101
最寄り駅	阪急京都線桂駅より　市バス・阪急京都バス・ヤサカバスで 桂坂小学校前　下車　すぐ（バス20分）			ＦＡＸ番号	075－333－1102
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 12 月 8 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をもち、共に高まり合う集団の育成 ～子どもの心にひびく道徳～				
研究の概要	模範解答を求める道徳学習ではなく、教材を通して提示された道徳的価値を自分の問題として捉え、自分事として課題解決に向かおうとする「心に響く道徳」を目指した道徳学習の在り方を探る。また、道徳学習での学びを自分の成長として実感し、さらに伸びようとする意欲につなげる「評価」の在り方を探る。				

都道府県名	27 京　都	学校名	京都市立梅津小学校	校　長　名	若　松　秀　一
学校所在地	〒615-0916 京都市右京区梅津中村町38番地			電話番号	075－861－0009
最寄り駅	阪急嵐山線　松尾駅　（徒歩15分） 京都市バス　長福寺道下車　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	075－881－0465
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	今年はしません
研究テーマ (サブテーマ)	よりよい生き方を求め、自ら気付き、考える子の育成を目指した“しなやかな道徳教育” ―　学校教育活動全体を通した「道徳教育」の推進と授業改善を通して　―				
研究の概要	今年度は、今まで行ってきた成果を基盤にしながら子ども達が45分間の学習の中で、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えを深められるような「特別の教科　道徳」について研究を進める。 ＜目指したい道徳教育＞ 教職員全員が各々の職種の特質に応じて、学校教育活動全体を通して、子どもたちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養っていけるような道徳教育を目指したい。 ＜目指したい道徳学習＞ 学力の優劣や道徳的見方や考え方の違い、発達障がいの有無にかかわらず、子どもたちがねらいとする道徳的価値について、多面的多角的に楽しく考え、理解し、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深める道徳学習を目指したい。				

都道府県名	27 京　都	学校名	京都市立紫竹小学校	校　長　名	岡　嶋　ひとみ
学校所在地	〒603-8422 京都市北区紫竹下園生町26			電話番号	075－491－6005
最寄り駅	９系統線　下岸町駅　（バス　分）			ＦＡＸ番号	075－491－6125
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 30 年 1 月 19 日
研究テーマ (サブテーマ)	友だちと「おもい」を伝え合い　しなやかに生きる子どもの育成 ～言語活動の充実による　道徳の授業を通して～				
研究の概要	⑴　重点内容項目の設定 子どもの道徳性に関わる実態や学校の道徳教育推進上の課題等を踏まえて重点内容項目を設定する。 ⑵　主体的・対話的な深い学びのある道徳の授業 ①　導入の工夫・・子どもの実態に即した資料の選択 ②　めあてと振り返り・・何について考えるのか、何を学んだのか ③　発問の工夫・・多面的・多角的な話し合い ⑶　道徳教育の充実 体験したことや考えたことを道徳の授業に活かすなど各教科や行事と関連させる。 ⑷　日常の取組 ①　言語活動の充実・・言葉のキャッチボールカード、語彙カード ②　話す・聞く活動・・朝の帯タイム ③　環境の充実 ・「話す・聞く」を意識する掲示 ・学校全体が授業の様子を交流できる場づくり ・心を育てるコーナー				

都道府県名	28 大　阪	学校名	交野市立星田小学校	校　長　名	北　　春　城
学校所在地	〒576-0016 大阪府交野市星田３丁目33番４号			電話番号	072－891－2034
最寄り駅	ＪＲ学研都市線　星田駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	072－891－2181
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 1 月 31 日
研究テーマ (サブテーマ)	「道徳科の本格実施に向けて」 ～考え、議論する「道徳」～				
研究の概要	・校内研修会（５・７・１月)、研修推進部会（毎月）の実施 考える道徳(問題解決的な学習等)の研究について ワークシートの研究・活用について 評価の研究について ・研究授業及び研究討議（６・10・１月）の実施 児童が主体的に取り組むための中心発問の工夫について 考える道徳(問題解決的な学習等)への授業改善について ワークシートの活用について （中心発問、振り返り、自己評価などを記入する） 教員が様々な場面での児童の考えや行動を記録する「道徳の記録」の活用 教科書の研究、道徳年間指導計画及び別葉の作成 ・評価についての研究 ワークシート等を活用した評価について 児童の変容（成長）のみとりについて 通知表の記載方法の研究 ・体験活動の充実 幼保小交流会、支援学校との交流会　地域の老人ホーム訪問・交流会 ・土曜参観等における道徳の授業の公開 ・学校だより等による家庭や地域への発信、道徳通信の発信				

都道府県名	28 大　阪	学校名	泉佐野市立日根野小学校	校　長　名	勝　間　弘　記
学校所在地	〒598-0021 泉佐野市日根野1684番地			電話番号	072－468－0789
最寄り駅	ＪＲ阪和線　日根野駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	072－468－0765
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	発表はありません
研究テーマ (サブテーマ)	“考える”道徳 （多様な感じ方や考え方に触れ、考えを深めよう）				
研究の概要	道徳の効果的な指導方法について、子どもたち自らが考え、理解し、主体的に取組むための発問の工夫や考えを深めていくためのワークシートの活用方法や場面の研究を進めている。 また道徳の評価方法について、児童が道徳の時間の振り返りや授業を通して考えたことを記録する「道徳ファイル」の活用や社会性測定用尺度の活用等の研究を進めている。				

都道府県名	28 大　阪	学校名	豊能町立東能勢小学校	校　長　名	新　倉　英　俊
学校所在地	〒563-0219 豊能郡豊能町余野1008番地			電話番号	072－739－0016
最寄り駅	阪急宝塚線　池田駅 （バス40分余野バス停徒歩５分）			ＦＡＸ番号	072－739－2293
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 8 月 7 日
研究テーマ (サブテーマ)	質の高い多様な指導方法・評価方法等の研究				
研究の概要	「気づき」「自己をみつめ」「よりよく生きていこう」とする心を育む授業づくりをめざし、読み物教材を中心に、教材・他者・自己との対話が生まれるための的確なねらいの設定、発問の練り上げ、効果的で具体的な手立てについての研究を行っている。また、授業と一体化し、ポートフォリオをもとに、子どもの心に届く評価方法のあり方を研究している。				

都道府県名	29 大　阪	学校名	大阪市立豊仁小学校	校　長　名	服　部　敬　一
学校所在地	〒531-0061 大阪府大阪市北区長柄西２－６－20			電話番号	06－6351－0500
最寄り駅	地下鉄堺筋線　天神橋筋６丁目駅 地下鉄谷町線　天神橋筋６丁目駅 阪急北千里線　天神橋筋６丁目駅　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	06－6351－0287
指定の種類	文部科学省 大阪指導教育推進員会	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 30 年 1 月 26 日
研究テーマ (サブテーマ)	主体的・対話的で深い学びをめざす道徳科の学習と評価				
研究の概要	新しい学習指導要領における授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」に立った道徳の授業のあり方を探る。具体的には「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」における児童の具体的な姿を想定するとともに、その姿を評価する観点を設定して授業実践に取り組んでいる。				

都道府県名	30 兵　庫	学校名	洲本市立洲本第一小学校	校　長　名	清　水　晃　弥
学校所在地	〒656-0012 兵庫県洲本市宇山１丁目１－37			電話番号	0799－22－4474
最寄り駅				ＦＡＸ番号	0799－25－2320
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29年 11 月 16 日
研究テーマ (サブテーマ)	対話のある授業づくり				
研究の概要	「わたしたちの道徳」及び「兵庫県版道徳教育副読本」を活用し、教師と児童の対話を充実させることで“ねらい”にせまる授業づくりを行う。特に、自己の生き方について考えが深まる中心発問の工夫、そのための授業分析シートのあり方、道徳ノートの効果的な活用について研究する。				

都道府県名	30 兵　庫	学校名	豊岡市立竹野小学校	校　長　名	和　田　直　樹
学校所在地	〒669-6201 兵庫県豊岡市竹野町竹野300			電話番号	0796－47－0014
最寄り駅	山陰本線　竹野駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	0796－47－0057
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 17 日
研究テーマ (サブテーマ)	【但馬小学校教育研究会道徳部会指定、豊岡市教育委員会指定】 よりよく生きようとする子どもの育成 ～対話をとおして、自分を見つめる道徳授業～				
研究の概要	平成27年度末に、但馬小学校教育研究会より、平成29年度道徳の研究指定の依頼を受けた。平成30年度より始まる道徳の教科化に向けて、研修するのには最適と考え、今までの本校の道徳授業での指導をゼロに戻し、互いに研修に励んできた。日本道徳教育学会名誉会長　横山利弘氏に指導を仰ぎ、具体的実践部分の指導には日本道徳教育学会　近畿支部　顧問　行本美千子氏の指導をいただき現在研修中である。 本校は、道徳の授業では、資料を使用した道徳を進めることで「道徳的実践意欲と態度を育てる」ことを目指している。 よって、校内の研修では、授業で使用する資料の分析の仕方（ビフォー、アフターの見つけ方）や考えさせる中心部分に対する発問の仕方、流れが分かる板書の仕方、等々について、研究授業を一人３回（公開授業を含む）行いながら、前記のテーマごとに話し合いを進めてきた。 11月17日（金）には、兵庫県但馬小学校道徳教育部会の指定を受け、研究大会の会場校として、成果を発表する。 研究会発表以降は、次年度から始まる道徳科の「評価」について、授業中に児童に書かせている「道徳ノート（ふりかえりカード）」などをもとに、「通知表」への記入の仕方はどうあるべきかを具体的に研究していく予定である。				

都道府県名	30 兵　庫	学校名	姫路市立四郷小学校	校　長　名	青　野　克　美
学校所在地	〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元227			電話番号	079－252－3636
最寄り駅	神姫バス　四郷和光保育所東線 四郷公民館前駅　（徒歩１分）			ＦＡＸ番号	079－252－6955
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 16 日
研究テーマ (サブテーマ)	児童生徒が主体的・対話的に学び、価値の理解を深める道徳授業の創造 －ねらいの実現に向けた多様な指導方法の工夫を中心に－				
研究の概要	四郷小・中ブロックでは、小中一貫教育を推し進め、研修を重ねている。児童のアンケートを基に、道徳科の授業を見つめ直すことからスタートし、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習など多様な指導方法を工夫し、授業改善を図ることに重きを置いてきた。価値の理解を深め、よりよく生きるための価値観を育てる研究を続けている。				

都道府県名	31 奈　良	学校名	大和高田市立陵西小学校	校　長　名	中　本　剛　史
学校所在地	〒639-0203 奈良県大和高田市池田３			電話番号	0745－22－0651
最寄り駅	近鉄大阪線　築山駅　1500m			ＦＡＸ番号	0745－22－0652
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 21 日
研究テーマ (サブテーマ)	「考え、伝え合い、自分の生き方を見つめる」道徳教育の充実をめざして				
研究の概要	本校の子どもたちの実態を踏まえ、物事の善悪を的確に判断し、公正・公平に振る舞う心情や態度を養うことで自己有用感を高めていきたいと考える。そこで、研究主題を「自ら学び生きる力を高める子どもの育成　～『考え、伝え合い、自分の生き方を見つめる』道徳教育の充実をめざして～」とし、道徳の時間を要として、なかまとともに様々な考えを共有、共感、議論する中で自分の考えをもち、自分の生活や生き方を見つめていく道徳教育を推進していく。 ①一部改正された学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程のもとで道徳教育の推進 ②学校や地域の実情に応じていくつかの道徳の内容等を重点的な課題として位置付け、全教育活動を通じて計画的・発展的に推進する道徳教育 ③「考え、議論する道徳」へと質的に転換を図るため、一部改正された学習指導要領の趣旨を踏まえた効果的かつ多様な指導方法の研究 ④道徳の時間等を要として、各教科等における道徳教育を効果的に推進するための計画作成の工夫 ⑤児童生徒の実態の把握や道徳性の評価を生かした指導の改善				

都道府県名	31 奈　良	学校名	斑鳩町立斑鳩西小学校	校　長　名	小　島　浩　士
学校所在地	〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南２丁目４番25号			電話番号	0745－74－3051
最寄り駅	ＪＲ大和路線　王寺駅 近鉄田原本線　新王寺駅　（バス・徒歩20分）			ＦＡＸ番号	
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成25年度～29年度 ５年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 24 日
研究テーマ (サブテーマ)	互いを尊重し、心豊かに人とつながる児童の育成 （認め合い、関わり合う学びを通して）				
研究の概要	今年度は、「人とのつながり」を研究の中核として４つの重点項目を設定した。「お互いが認め合い、関わり合える」学習の研究と、地域や周りの人とつながる活動を充実させ、豊かな心の育みに務めた。同時に、来年度を見据え、個人内評価に対応できるように「道徳ノート」の活用の仕方や「別葉」の見直しにも取り組んだ。				

都道府県名	32 島　根	学校名	雲南市立加茂小学校	校　長　名	恩　田　仁　志
学校所在地	〒699-1106 雲南市加茂町加茂中1031			電話番号	0854－49－7038
最寄り駅	ＪＲ木次線　加茂中駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	0854－49－7995
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度～31年度 ３年間	研究発表日	平成 31 年 10 月 30 日
研究テーマ (サブテーマ)	自分の考えをもち、響き合い、高め合う子どもの育成				
研究の概要	自分の考えをもち、響き合い、高め合おうとする子どもを育成するために、他の教育活動と関連づけて、道徳的価値の理解をもとに、自己の生き方について考えを深めていけるような道徳の時間の工夫と改善の在り方を研究する。また、加茂こども園や加茂中学校と連携を図りながら、よりよい道徳教育の基盤作りをすすめる。				

都道府県名	33 鳥　取	学校名	米子市立福米西小学校	校　長　名	井　口　恵美子
学校所在地	〒683-0805 鳥取県米子市西福原８丁目16番62号			電話番号	0859－34－5570
最寄り駅	山陰本線　米子駅　（バス・徒歩30分）			ＦＡＸ番号	0859－34－5605
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成　　年　　月　　日
研究テーマ (サブテーマ)	「豊かな心と確かな学力をもち、自ら学ぼうとする子どもの育成」 ～学びたい 語り合いたい 学んだことを表現したい そんな道徳の授業を目指して～				
研究の概要	子どもたちが本気で考え、心を揺さぶり、行動につながる道徳の授業を目指して研究を進めている。そのためには、「道徳の授業で何を考えさせるのか」と言う明確な指導観、内容項目の深い分析が大切だと考えた。さらに、児童自らの心の成長を実感させる振り返りや道徳ノートの指導を工夫し、評価へつなげていきたいと考えている。 具体的な研究・実践 ・「自分はこの資料から何を学ぶか」価値項目をはっきりさせる。 ・「目に見える行為」と「行為を生む目に見えない心」を児童に考えさせる授業を。（議論する道徳） ・効果的な導入…学びの必然性　「是非考えたい」「話し合いたい」 ・考えの支援になる板書 ・終末…子どもたちが、この時間で何を考え、何を学び、どう考えがかわったのか、自分の言葉でまとめる（表現する）→道徳ノートの活用→評価へ ・道徳の授業を日常生活に結び付ける足跡（学習掲示）の工夫				

都道府県名	35 岡　山	学校名	高梁市立高梁小学校	校　長　名	岡　本　恵　子
学校所在地	〒716-0062 岡山県高梁市落合町近似504－１			電話番号	0866－22－2118
最寄り駅	伯備線　備中高梁駅　（バス・徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0866－22－2944
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 27 日
研究テーマ (サブテーマ)	新しい自分に出会い　自己の生き方を豊かにする道徳の学習 （道徳科の授業づくりを考える）				
研究の概要	道徳教育の重点目標や重点内容項目について，次の５点を中心に実践を進めた。 （１）重点内容項目を意識した全体計画別様，年間指導計画の作成と見直し （２）学び合いを大切にした道徳科の授業づくり （３）道徳の時間を要とした関連的な道徳の学習の進め方 （４）道徳性を高める環境づくり （５）意欲につながる評価				

都道府県名	36 広　島	学校名	廿日市市立津田小学校	校　長　名	渡　部　　猛
学校所在地	〒728-0222 広島県廿日市市津田2740			電話番号	0829－72－0329
最寄り駅	ＪＲ山陽本線　宮内串戸駅　（バス45分）			ＦＡＸ番号	0829－72－0535
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 12 月 1 日
研究テーマ (サブテーマ)	人とかかわりあい、意欲的に課題を解決しようとする児童・生徒の育成 ～　自己の生き方についての考えを深める道徳の授業づくりを通して　～				
研究の概要	自己を見つめ、自分の思いや考えを交流し、自他のよさを理解し合う授業づくりを進め、主体的・協動的な学びができるように次の４つの視点から取組む。 （１）教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進 （２）意見を交流する中で、自他のよさを理解し合う授業づくり （３）自己を見つめることができる授業づくり （４）魅力的な教材の開発・活用と道徳の時間の構想				

都道府県名	36 広　島	学校名	広島市立楽々園小学校	校　長　名	森　田　賛　子
学校所在地	〒731-5136 広島市佐伯区楽々園６丁目８－１			電話番号	082－924－5221
最寄り駅	広島電鉄宮島線　楽々園駅　（徒歩７分）			ＦＡＸ番号	082－924－9981
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成25年度～29年度 ６年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 28 日
研究テーマ (サブテーマ)	子どもの自尊感情を育む授業づくり ～「思考力・判断力・表現力」の向上を目指して～				
研究の概要	道徳の時間で培ってきた授業の組立て方を基に、「楽々園小学校授業スタンダード」を設定し、全教科を通じて「教師が教え込む授業」から「子どもが学び取る授業」への転換に取り組んでいる。毎時間のワークシートは個人ファイルに綴じて家庭に持ち帰ると共に、学習の足跡の掲示、グリーンカードや道徳標語など生活との関連を図っている。				

都道府県名	36 広　島	学校名	広島市立深川小学校	校　長　名	原　　義　喜
学校所在地	〒739-1751 広島市安佐北区深川五丁目12－１			電話番号	082－842－0021
最寄り駅	ＪＲ芸備線　中深川駅　（バス・徒歩５分）			ＦＡＸ番号	082－842－9481
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 13 日
研究テーマ (サブテーマ)	考える道徳の授業を通して、主体的に生きる深川っ子の育成 （子どもたちの考えをつなぐ授業づくりを中心として）				
研究の概要	＜研究テーマについて＞ １年次　自己を見つめ、主体的に生きる子どもの育成（道徳の時間を要とした授業づくりを通して） ２年次　考える道徳の授業を通して、主体的に生きる深川っ子の育成（価値を深める説話の工夫） 上記のテーマのもと、１年次は道徳の時間の授業づくりの基本についての研究、２年次は登場人物の言葉、行動から教材に書かれていない内面やその資料のもつ道徳的価値に気づかせる指導の工夫について研究した。それらの取組から児童同士が考えをつなぐ工夫、また、つなぐための表現力の育成が課題に挙がり、３年次は副題を「子どもたちの考えをつなぐ」とした。研究の視点として、児童の考えをつなぐ手立てが有効にはたらき「議論する道徳」になっていたか、「考える道徳」になるための道徳的価値の自覚を深める発問になっていたかを定め、低・中・高のブロック研究を中心に、全体研究で研究の様子を全体で共有化し、研究を進めていった。「深く考える」ための教師の発問の仕方、板書での道徳的価値の焦点化等、学校全体での充実した取組になり、次年度の教科化に向けて、特に評価方法にも直結する研究になってきている。				

都道府県名	36 広　島	学校名	三原市立本郷小学校	校　長　名	沖　　章　生
学校所在地	〒729-1563 広島県三原市本郷北３丁目15番１号			電話番号	0848－86－3300
最寄り駅	山陽本線　本郷駅　（徒歩３分）			ＦＡＸ番号	0848－86－4271
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 1 月 26日
研究テーマ (サブテーマ)	自他を尊重し、よりよく生きようとする児童・生徒の育成 ～自分・他者・地域との“つながり”を意識した道徳的実践を通して～				
研究の概要	１　自分との“つながり”に関して 「発達段階や系統性を考慮した、小中学校一貫の道徳授業スタイルを確立する。」 ①主体的に内面的な学びを深める課題設定・展開・終末のあり方 ②思いや考えを互いに表現し合える発問・指導方法の工夫 ２　他者との“つながり”関して 「発達段階や所属集団の違いを生かした新しい道徳授業の在り方を創造する。」 ①異学年合同授業の開発・実施 ②学年・全校道徳授業の開発・実施 ③小・小合同道徳授業の開発・実践 ３　地域との“つながり”に関して 「地域に根ざした道徳教育の推進を図る。」 ①地域合同奉仕活動等の実施 ②地域の人材や歴史・文化を生かした郷土資料の開発、ＧＴの招聘 ③他教科、領域との関連を図った道徳教育の展開（別葉の活用） ４　研究推進に関して 「本郷小学校（センター校）・本郷西小学校・本郷中学校の３校で研究を推進する。」 ①道徳推進リーダーが３校の「道徳の時間」にＴＴとして関わる。 ②年間８回程度の授業研究を含めた３校合同研修会を実施する。 ③保護者・地域住民の協力を得ながら、道徳的実践の場を作る。				

都道府県名	36 広　島	学校名	広島市立中野小学校	校　長　名	板　木　和　幸
学校所在地	〒739-0321 広島市安芸区中野４丁目21－１			電話番号	082－892－0011
最寄り駅	ＪＲ山陽本線　中野東駅　（徒歩15分）			ＦＡＸ番号	082－893－1149
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成24年度～29年度 ６年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 20 日
研究テーマ (サブテーマ)	共に学び合い、高め合う子どもの育成 ～考え、議論する道徳教育の創造～				
研究の概要	「中野スタンダード」による学習規律づくりを基盤として、対話を意識したペア・グループ学習の定着を図る。道徳の時間では、児童理解と資料分析をもとに考え・議論する場面の構想を練り、中心発問と補助発問の工夫をする。また、来年度の評価に向けた振り返りシートの工夫に取り組む。				

都道府県名	37 山　口	学校名	下関市立西山小学校	校　長　名	大　野　克　之
学校所在地	〒750-0092 山口県下関市彦島迫町５－13－21			電話番号	083－266－0159
最寄り駅	ＪＲ下関駅　（バス15分）			ＦＡＸ番号	083－266－0150
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 17 日
研究テーマ (サブテーマ)	友達と関わり、認め合いながら自己有用感を高める子どもの育成 ～地域や保護者と連携した活動を通して～				
研究の概要	山口県の「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクトの推進指定校として、「未来を拓く、たくましいやまぐちっ子の育成」を目指し、考え議論する道徳への授業改善、子どもの自己有用感を高めるための保護者・地域連携の在り方等について研究実践に取り組んでいる。				

都道府県名	37 山　口	学校名	山口市立大内南小学校	校　長　名	温　品　賢　二
学校所在地	〒753-0222 山口県山口市大内矢田南二丁目４－１			電話番号	083－927－7373
最寄り駅	山口線　山口駅　（バス20分）			ＦＡＸ番号	083－927－7374
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成27年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 11 日
研究テーマ (サブテーマ)	「温かくかかわり合うこども」を育てる （物事を多面的・多角的に考え、自分自身を見つめる道徳学習の創造）				
研究の概要	道徳教育の充実をめざし、以下の３つのプロジェクトを立ち上げ、研究を進めてきた。 プロジェクト１「学校教育全体を通して進める道徳教育充実プロジェクト」 ・道徳教育全体計画別葉、年間指導計画の作成と活用 プロジェクト２「道徳の授業づくり・改善プロジェクト」 ・「考え、議論する」道徳の授業づくり ・問題解決的な学習 ・道徳的な行為に関する体験的な学習 ・家庭、地域と連携した地域参加型の学習 プロジェクト３「家庭・地域と連携して進める道徳教育プロジェクト」 ・地域人材の発掘 ・人材バンクの作成と活用 ・家庭、地域とのネットワークづくり				

都道府県名	37 山　口	学校名	岩国市立御庄小学校	校　長　名	水　野　祐　也
学校所在地	〒741-0083 山口県岩国市御庄1362			電話番号	0827－46－0016
最寄り駅	山陽新幹線線　新岩国駅　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0827－46－0401
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 2 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心をもち、道徳実践力のある児童の育成 ～言語活動の充実を通し～				
研究の概要	小学校学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」の改訂の経緯や基本方針について理解を深め、これまでの「読み取る道徳」から「考え、議論する道徳」の授業へと質的転換を図るため、「御庄小スタイル」の授業展開を構築し、授業実践に取り組んでいる。 併せて、「道徳ノート」を児童に持たせ、評価の在り方についても取り組んでいる。				

都道府県名	37 山　口	学校名	美祢市立淳美小学校	校　長　名	岡　田　陽　子
学校所在地	〒754-0122 山口県美祢市美東町真名472－３			電話番号	08396－5－0004
最寄り駅	山陽本線　新山口駅　（バス10分）			ＦＡＸ番号	08396－5－0787
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 24 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心身をもち、主体的な判断ができる児童の育成 ～かかわり合いの中で考えを深める活動を通して～				
研究の概要	本校では、以前から、かかわりあいを大切にした教育活動を進めてきている。今年度は、コミュニティスクール13年目の実績を生かし、道徳の時間と学校運営協議会の支援を受けた体験活動を関連させた取組を行っている。 具体的には、体験活動を行う時期に、学ばせたい内容項目にあわせた道徳科の授業を行う。伝承「天磐戸神楽」の奉納（６年）と【伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度】、地域の方を講師に招いてのクラブ活動（４.５.６年）と【感謝】【礼儀】等である。これらの取組は、本校の「道徳教育プログラム」として「使える別葉」となるよう、研究を進めている。				

都道府県名	37 山　口	学校名	柳井市立余田小学校	校　長　名	本　田　哲　也
学校所在地	〒742-0034 山口県柳井市余田1419			電話番号	0820－22－1530
最寄り駅	山陽本線柳井駅　（バス15分）			ＦＡＸ番号	0820－22－1640
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 10 月 6 日
研究テーマ （サブテーマ）	自ら考え判断し、他者と共によりよく生きる児童の育成 （道徳的価値観を話し合いの中で深めることができる確かな授業作り）				
研究の概要	平成28年度の取組 （１）一人一授業を通しての道徳の授業づくり （２）道徳の時間の充実に向けた全校での取組 （３）自己有用感や自己肯定感を高めるための活動 成果 （１）教師の道徳授業改善に対する意識の高まり。 （２）児童の道徳の時間への興味関心の高まり。 （３）地域や保護者を学習者とした参加型授業で、児童が多様な考えに触れることによる考え方の深化。 （４）道徳の授業で学んだことを意識的に生活の中で活用。 平成29年度の取組 （１）一人一授業を通しての授業スタイルの構築 （２）評価の方法 （３）教育活動での道徳的価値観の育成				

都道府県名	38 徳　島	学校名	小松島市南小松島小学校	校　長　名	増　田　章　生
学校所在地	〒773-0001 小松島市小松島町字高須36番地			電話番号	0885－32－0149
最寄り駅	ＪＲ牟岐線　南小松島駅　（徒歩３分）			ＦＡＸ番号	0885－32－0365
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成27年度～29年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 17 日
研究テーマ （サブテーマ）	「語り合い深め合う学びを通して、自己の生き方を考える子供を 育てる道徳教育」　～互いに認め合い、共に伸びゆく南っ子～				
研究の概要	⑴　道徳の時間の指導（互いに認め合う子供を育むための指導方法・授業構成等の改善） ①学習課題（めあて）の在り方 ②自己を見つめたり、多面的・多角的に考えたりすることができる発問構成や学習形態 ③多様な題材を活用した展開や体験を生かした展開 ④主体的に追求するための教材提示 ⑤子供の学びを支え、ノート等を活用した評価の工夫 ⑵　共に伸びゆく子供を育てる体験活動				

都道府県名	39 香　川	学校名	さぬき市立志度小学校	校　長　名	木　村　彰　伸
学校所在地	〒769－2101 香川県さぬき市志度727番地			電 話 番 号	087－894－0041
最　寄　り　駅	ＪＲ高徳線　志度駅　（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	087－894－7977
指 定 の 種 類	文部科学省	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	開催しない
研 究 テ ー マ (サブテーマ)	子どもの自尊感情を高める道徳教育 ～「やさしさ」と「やる気」を育てる指導の工夫～				
研 究 の 概 要	児童の自尊感情を高めるために、道徳の時間と特別活動や各教科等を横断的に関連つけた指導計画（志度っ子プラン）を作成した。 道徳の時間が、自分の思いや考えを伝える、友達の意見から自分自身を振り返るなど、児童が活躍できる授業改善に取り組んでいる。				

都道府県名	39 香　川	学校名	観音寺市立豊浜小学校	校　長　名	久保山　　学
学校所在地	〒769-1602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1000番地			電 話 番 号	0875－54－5517
最　寄　り　駅	ＪＲ予讃線　豊浜駅　（バス・徒歩15分）			ＦＡＸ番号	0875－54－5540
指 定 の 種 類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成　　年　　月　　日
研 究 テ ー マ (サブテーマ)	自己を見つめ、よりよい生き方をともに求める道徳 ～自ら問いかけ、考え、対話を深め心に響く道徳学習の創造～				
研 究 の 概 要	指導要領に則した道徳科の授業実践を行うことで、社会を構成する一員として、進んで役割を自覚し、思いやりを持って生活していくための道徳的価値を育てたいと考えた。 〈道徳科を要とした教育活動計画の策定〉 学校教育全体を通じて行う、道徳教育の要としての役割を明確にした道徳教育の全体計画を作成した。また、学校教育目標達成に向けて、重点項目を設定した。さらには、道徳科でねらう内容項目が、全教育活動で効果的に行えるよう、別葉に整理した。 〈新学習指導要領に即した授業実践〉 教師の評価の観点を明確にした、評価補助簿を作成、積み上げを行っている。 〈全教育活動を通した道徳活動と学・家・地域連携〉 重点指導内容項目にかかわる体験的活動を様々に仕組むとともに、実践内容を「道徳通信」として、発信し、家庭・地域と共に歩む道徳教育を目指している。				

都道府県名	39 香　川	学校名	高松市立太田南小学校	校　長　名	山　下　　修
学校所在地	〒761-8073 高松市太田下町1823番地１			電 話 番 号	087－865－9395
最　寄　り　駅	ことでん琴平線　太田駅　（徒歩13分）			ＦＡＸ番号	087－865－9388
指 定 の 種 類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 10 月 25 日
研 究 テ ー マ (サブテーマ)	主体的によりよい生き方を探究し、これからの社会を生きる力を育む道徳教育				
研 究 の 概 要	平成29・30年度、文部科学省より教育課程研究指定（道徳）を受け、研究テーマのもと、「考え、議論する道徳」を念頭に、質の高い道徳授業への改善を目指して研究・実践を積み重ねている。また、道徳授業を要とした学校教育全体で取り組む道徳教育、そのための全体計画や年間指導計画、別葉作りについても研究に取り組んでいる。				

都道府県名	41 高　知	学校名	香美市立舟入小学校	校　長　名	明　石　芳　文
学校所在地	〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田1218			電話番号	0887－53－3216
最寄り駅	ＪＲ土讃線　土佐山田駅　（タクシー10分）			ＦＡＸ番号	0887－-57－0215
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 28 日
研究テーマ (サブテーマ)	自分が好き、友達が好き、舟入が好きな児童の育成 －人との関わりを大切にし、自己を見つめ、よりよい生き方について 考えを深める道徳の授業実践を通して－				
研究の概要	本校では、以下の３点を重点目標として取り組んでいる。 ①　個性の伸長 ②　相互理解・寛容 ③　よりよい学校生活、集団生活の充実 道徳の時間を核として、授業で得た大切な学びを実生活の中で、道徳的な実践につなぐ力を育てたいと考えている。 そのために、 ①　問題解決的な授業づくりや発問の工夫 ②　道徳ノートの活用 ③　「私たちの道徳」「高知の道徳」等 を活用した家庭、地域との連携について取り組んでいる。				

都道府県名	41 高　知	学校名	津野町立葉山小学校	校　長　名	安　岡　幸　子
学校所在地	〒785-0202 高知県高岡郡津野町姫野々503－１			電話番号	0889－55－2020
最寄り駅	ＪＲ大間駅　（駅から車で15分）			ＦＡＸ番号	0889－40－1351
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 17 日
研究テーマ (サブテーマ)	道徳科の趣旨を踏まえた指導方法・評価の在り方に関する実践研究により、 童一人一人の道徳性の向上をめざした道徳教育の推進 ～主体的に考え、議論する道徳の授業づくりをめざして～				
研究の概要	（１）道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実 ・道徳教育の全体計画・年間計画の見直し ・道徳科を中心にしたカリキュラム・マネジメントの作成、実践 ・教科書の内容をもとにした年間指導計画の作成 （２）「考え、議論する」道徳の授業づくり ・ＰＤＣＡで取り組む授業改善（事前・事後研の実施）） ・毎時間の授業参観（管理職と道徳教育推進教師） ・新しい内容項目や授業スタイルの研究 （３）道徳科の趣旨を踏まえた評価の在り方に関する研究 ・チームで取り組む評価の資料づくり（授業後、評価について協議） ・発言やワークシートの分析 ・通知票や指導要録の内容の研究・実施 （４）家庭・地域と連携を図った道徳教育の実践研究 ・家庭・地域の方が道徳の授業に参画（日常的に） ・家庭・地域への道徳アンケート ・道徳参観日の実施 ・地域教材の作成、発信（片岡兄弟、吉村虎太郎、神楽） ・家庭で考える「高知の道徳」の内容を踏まえた取組				

都道府県名	41 高　知	学校名	南国市立岡豊小学校	校　長　名	島　内　祥　夫
学校所在地	〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡903			電話番号	088－862－0044
最寄り駅	ＪＲ土讃線　後免駅　（タクシー10分）			ＦＡＸ番号	088－862－0104
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 21 日
研究テーマ (サブテーマ)	誠実に価値と向き合い、道徳としての問題を考え続ける児童の育成 －問題解決的な学習など多様な指導方法を通して－				
研究の概要	（1）道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実に関する実践研究 ・道徳教育の全体計画の充実 ・道徳科の年間指導計画の充実 ・道徳科を要としたカリキュラム・マネジメントの実践 （2）道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究 ・道徳科の特質を踏まえた問題解決的な学習などの多様で柔軟な指導方法の研究 ・児童観察及び言語分析による道徳性の評価や道徳科の授業に対する評価の研究 （3）道徳科の新たな内容項目に関する道徳の授業実践の研究 ・新たな内容項目に適応する教材の開発 （4）家庭・地域と連携を図った道徳教育の実践研究 ・「高知の道徳」の効果的な活用方法等について ・家庭・地域と共に行う「いじめ０」を目指した取組 ・家庭・地域と共に行う道徳的実践の取組				

都道府県名	42 福　岡	学校名	北九州市立浅川小学校	校　長　名	大　竹　ひとみ
学校所在地	〒807-0879 北九州市八幡西区浅川町10番１号			電話番号	093－691－1681
最寄り駅	鹿児島本線　折尾駅　（バス10分）			ＦＡＸ番号	093－691－1688
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成29年度～31年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 9 月 29 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな心を育む道徳教育の創造 （主体的・対話的で深い学びを目指した「特別の教科　道徳」（道徳科）授業の創造）				
研究の概要	本校は、平成20年度から北九州市教育委員会の委嘱校「学校大好きオンリーワン事業（道徳）」本年度からは「教科等コアスクール事業（道徳）」の指定を受け、本市の道徳教育の核となる学校として研究を推進し、毎年公開授業を行っています。本年度は、平成30年度から全面実施される「道徳科」を見据えて、上記の研究テーマ及びサブテーマを設定し、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れる等、指導方法の工夫を図る研究を推進していくこととしました。 研究の一年次に当たる本年度は、①道徳教育全体計画（別様）の見直し　②道徳的価値の意味を深く考えさせる発問の工夫　③考え・議論し合う話合い活動の工夫　を具体的方策とし研究を行うこととしました。公開授業に至るまでに、組織的研究体制を確立し、模擬授業、協議、学習指導案の修正、更に授業実践を積み重ね授業改善を図るという、ＰＤＣＡサイクルを重視しました。授業公開当日は、文部科学省教科調査官浅見哲也様に、「『特別の教科　道徳』の実施に向けて」と題してご講演していただきました。 今後も、主体的・対話的で深い学びを目指した道徳授業を目指していきたいと考えます。				

都道府県名	42 福　岡	学校名	大牟田市立中友小学校	校　長　名	平　野　正　明
学校所在地	〒836-0025 福岡県大牟田市中友町１－20			電話番号	0944－53－6016
最寄り駅	ＪＲ九州線　大牟田駅西口　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0944－56－0497
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 28 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己の生き方について考えを深める子どもを育てる道徳学習指導 ～多様な見方・考え方から価値理解に迫る対話活動を通して～				
研究の概要	道徳的価値に関わる事象に対して自我関与を深め、自分の問題として受け止め、体験を拠り所にして、自他の見方・考え方・感じ方を吟味しながら価値に対して納得を見出し、納得した価値観に照らしながら自己の生き方を見つめ、思いや課題を明らかにする子どもを育てたい。そのために、多面的・多角的な視点から資料中の人物の行為や心情等を推し量り、見出した多様な見方・考え方を、新たな観点や方法を用いて比較・検討しながら道徳的価値の理解を深める二段階の対話活動を通して目指す子ども像に迫りたい。				

都道府県名	42 福　岡	学校名	福津市立福間南小学校	校　長　名	新　海　秀　俊
学校所在地	〒811-3209 福岡県福津市日蒔野４丁目11番地の２			電話番号	0940－43－0778
最寄り駅	鹿児島本線　福間駅　（徒歩７分）			ＦＡＸ番号	0940－42－7494
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 9 月 14 日
研究テーマ (サブテーマ)	未来を拓き、自己を見つめる子どもを育てる道徳科学習指導 ～多面的・多角的な思考を促す発問と学び合う言語活動を通して～				
研究の概要	本研究は、未来を拓き、自己を見つめる子どもを育てるために、次のような手立てを基に道徳科学習指導の研究を進めています。 （１）多面的・多角的な思考を促す発問 （２）学び合う言語活動 さらに、具体的な仮説は次のとおりです。 （１）問題意識を生み出す教材選定の工夫 （２）問題意識を生み出す導入と発問の工夫 （３）多面的・多角的な思考を促す発問の吟味 （４）言語活動を活性化させる交流形態と教具の工夫				

都道府県名	42 福　岡	学校名	久留米市立大橋小学校	校　長　名	江　藤　　徹
学校所在地	〒839-0832 福岡県久留米市大橋町合楽1081			電話番号	0942－47－0069
最寄り駅	ＪＲ九大線筑後草野駅　（バス・徒歩30分）			ＦＡＸ番号	0942－47－5041
指定の種類	都道府県教委	研究期間	平成29年度　１年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 28 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己の生き方を深める子どもを育てる道徳学習指導 ～子ども自身が多面的、多角的に考える発問の工夫を通して～				
研究の概要	子ども自身が多面的、多角的に考える発問の構成の工夫を行えば、道徳的心情や道徳的判断力を育み、道徳的実践意欲と態度が高まり、自己の生き方を深める子どもを育てることができるだろうという仮説のもと、子ども自身が多面的・多角的に考えるための、“発問の構成の工夫”を行い、発問の練り直しや発問の有効性について授業研を通して検証を行っています。				

都道府県名	43 佐　賀	学校名	東与賀小学校	校　長　名	梶　原　紳　一
学校所在地	〒840-2222 佐賀市東与賀町大字田中453番地			電話番号	0952－45－0321
最寄り駅	ＪＲ長崎本線 佐賀駅 佐賀駅バスセンターから 市営バス 東与賀線 東与賀支所前下車（バス25分）			ＦＡＸ番号	0952－45－8718
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 16 日
研究テーマ (サブテーマ)	自他を理解し、あたたかく人とつながる児童の育成 ～心に響く「特別の教科　道徳」の時間を要とした道徳教育を通して～				
研究の概要	①　各教科等で行われる道徳教育と関連を図り、補充、深化、統合の視点で構想する、心に響く「道徳の時間」の授業実践の研究 ②　たてわり活動や「にこにこタイム」、環境整備等、心の安定や自己肯定感を高める日常活動や体験活動の研究 ③　保護者や地域社会の道徳的価値意識を高めるための、小中、家庭・地域社会と連携・協力した取組の在り方の研究				

都道府県名	43 佐　賀	学校名	多久市立東原庠舎西渓校 前期課程	校　長　名	吉　崎　　泰
学校所在地	〒846-0031 佐賀県多久市多久町1784－１			電話番号	0952－75－2826
最寄り駅	唐津線　多久駅　（バス７分）			ＦＡＸ番号	0952－71－2320
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成28年度～30年度 ３年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 10 日
研究テーマ (サブテーマ)	自他のよさを認め合い、ともに高め合う心豊かな児童生徒の育成 ～９年間を繋ぐ道徳の時間を通して～				
研究の概要	○めざす児童生徒像（【 】重点的に取り組む内容項目） １　ともに助け合う子：【親切、思いやり、感謝】【友情、信頼】【相互理解、寛容】 ２　自信と誇りのある子：【個性の伸長、向上心】【善悪の判断、自主、自律、自由と責任】 ３ 目標をもち根気強く取り組む子：【希望と勇気、努力と強い意志】【克己と強い意志】 ４ 節度ある行動をする子：【礼儀】【節度、節制】【規則の尊重】【遵法精神、公徳心】【公正、公平、社会正義】 ○研究の目標 自他のよさを認め合い、ともに高め合う心豊かな児童生徒を育成するために、９年間を見通した道徳教育の在り方について研究する。 ○２つの視点に沿って、授業の工夫・改善を進める ①　児童生徒一人一人が道徳的な課題を自分自身の問題とし捉えられるような資料提示と発問の工夫 ②　児童生徒が他者と関わり合い考えを交流させる場面設定の工夫				

都道府県名	43 佐　賀	学校名	太良町立多良小学校	校　長　名	上　野　義　晴
学校所在地	〒849-1602 佐賀県藤津郡太良町大字多良1264番地			電話番号	0954－67－0044
最寄り駅	ＪＲ長崎線多良駅　（バス・徒歩　分）			ＦＡＸ番号	0954－67－2169
指定の種類	文部科学省 都道府県教委	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 1 月 19 日
研究テーマ (サブテーマ)	ともに認め合い、関わり合う心豊かな児童の育成 ～互いの思いを伝え合う授業づくりと道徳教育の推進を通して～				
研究の概要	多良小中学校は、小学校の運動場を囲むように校舎が隣接しており、小学校児童のほとんどが中学校に進学する。こうした立地条件を生かし多良小中学校９年間を見通した計画的、系統的な道徳教育を研究している。小中学校共通の研究主題を「家庭・地域・小中の連携を通した道徳教育の探究」とし、家庭や地域との連携を図る道徳教育の在り方や、児童生徒が自己のよりよい生き方を考えていくために「考え議論する道徳」の授業づくりを研究の中心として取り組んでいる。				

都道府県名	44 長　崎	学校名	西海市立大瀬戸小学校	校　長　名	小　山　義　彰
学校所在地	〒857-2302 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷2188－１			電話番号	0959－37－0362
最寄り駅	さいかい交通線　西海市役所前バス停（徒歩５分）			ＦＡＸ番号	0959－22－1232
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成29年度～30年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 24 日
研究テーマ (サブテーマ)	自己を見つめ、協働して学び、未来を拓こうとする生徒の育成 ～「特別の教科　道徳」へ向けた指導方法の工夫と全教育活動を通じた 道徳教育の推進を通して　～ （大瀬戸中学校研究主題）				
研究の概要	研究委託指定校（大瀬戸中）を中心として、協力校（本校及び雪浦小学校）が連携しながら、中学校区内における学びを見通した道徳教育を推進していく。				

都道府県名	44 長　崎	学校名	雲仙市立川床小学校	校　長　名	本　田　恭　子
学校所在地	〒859-1114 長崎県雲仙市吾妻町川床名129			電話番号	0957－38－2109
最寄り駅	島原鉄道　吾妻駅　（徒歩40分）			ＦＡＸ番号	0957－38－2046
指定の種類	都道府県教委 区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 29 年 11 月 10 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな関わりを通して自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成 ～考え、深め合う道徳の時間の工夫と関わりを大切にした体験活動を通して～				
研究の概要	主体的に考え、判断し、責任をもって行動できる態度と他者とよりよく生きようとする共生的な態度を身に付けた児童を育成するため、「授業づくり」を中心に次の内容について研究を進めた。 １　「考え、深め合う」道徳の授業づくり ２　学ぶ基盤となる学級づくり ３　小規模校のよさを生かした交流活動 ４　家庭や地域との関わりを大切にした体験活動等				

都道府県名	44 長　崎	学校名	長崎市立式見小学校	校　長　名	濵　田　浩　一
学校所在地	〒851-1137 長崎県長崎市式見町678番地			電話番号	095－841－0005
最寄り駅	長崎本線　浦上駅　（バス40分＋徒歩５分）			ＦＡＸ番号	095－841－1252
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成28年度～29年度 ２年間	研究発表日	平成 30 年 2 月 9 日
研究テーマ (サブテーマ)	自分の生活につながる道徳性の育成 ～多様な考えに共感し、自ら考えを広げ深める授業を通して～				
研究の概要	「問題意識をもって、主体的に考え、共に学びあうことができるような手立ての工夫」「道徳科と他教科等や家庭や地域との連携を意識した授業づくり」の視点で、道徳科の授業改善を中心に、児童が自らの人生や生活に生きてはたらく道徳性の育成を図る。				

都道府県名	48 鹿児島	学校名	いちき串木野市立照島小学校	校　長　名	前　田　伸　一
学校所在地	〒896-0055 鹿児島県いちき串木野市照島5453－３			電話番号	0996－32－4446
最寄り駅	鹿児島本線　神村学園前駅　（徒歩10分）			ＦＡＸ番号	0996－32－2051
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成28年度　１年間	研究発表日	平成 28年 6 月 14 日
研究テーマ (サブテーマ)	「豊かなかかわりをとおして、よりよく生きる力を高める道徳教育の在り方」 ～対話をとおしてよりよく生きるよさを実感する道徳授業～				
研究の概要	○　研究の内容 ⑴　道徳の授業の工夫 ア　内容項目の分析と導入段階の工夫 内容項目における人間の二面性について、実践を支える見方・考え方・感じ方と実践を阻む心の弱さから把握し、それらの心の葛藤を乗り越えるための心構えについて分析を行った。また、導入段階では、内容項目における経験について想起させたり、アンケート結果をふり返らせたりすることで問題意識を高める工夫に取り組んだ。 イ　資料提示の工夫 場面絵、ペープサート等の提示により、学習への興味・関心を喚起させ、意欲的に取り組ませるようにした。 ウ　対話活動の充実 中心発問部分をはじめ、内容項目についてペアやグループで意見交換をさせ、多様な見方・考え方・感じ方にふれさせ、その価値について理解を深めさせた。 エ　終末の工夫 教師の説話だけでなく、ゲストティーチャーによる説話や内容項目に関する日記の紹介、家族からのメッセージカード等による道徳的実践への意欲付けを図る工夫に取り組んだ。 ⑵　道徳的環境の整備 道徳の時間に取り扱った内容項目に関するワークシートや望ましい行動を紹介するコーナーを設置し、道徳的実践への意欲付けを図る工夫に取り組んだ。				

都道府県名	48 鹿児島	学校名	南さつま市立加世田小学校	校 長 名	佐々木 好 彦
学校所在地	〒897-0002 鹿児島県南さつま市加世田武田17470			電話番号	0993－52－2039
最寄り駅	指宿枕崎線 枕崎駅 (バス30分)			ＦＡＸ番号	0993－53－2403
指定の種類	文部科学省	研究期間	平成27年度～28年度 ２年間	研究発表日	平成 28 年 11 月 29 日
研究テーマ (サブテーマ)	豊かな自己の生き方を追究する子どもの育成 ～自己の生き方について問い続ける子どもを育てる道徳科授業の創造～				
研究の概要	本校では、「発達段階を考慮した学習指導過程」と「対話活動の充実」について研究した。この研究の核となるのが主題に迫る発問「重点化発問」である。この発問を通して道徳的価値の意義を考えられるようにした。この発問は、「目的論」や「義務論」などを視点として、児童の実態に合わせて切実な学びとなるようにした。				

都道府県名	48 鹿児島	学校名	鹿児島市立武岡小学校	校 長 名	宮 里 弘 見
学校所在地	〒890-0031 鹿児島市武岡二丁目30番地１			電話番号	099－282－0061
最寄り駅	鹿児島中央駅 (バス10分)			ＦＡＸ番号	099－282－0069
指定の種類	※指定は受けていない	研究期間		研究発表日	
研究テーマ (サブテーマ)	さまざまな関わりから多様な考え方のよさに気づき、よりよく生きようとする子の育成 ～道徳を中心とした指導法の工夫をとおして～				
研究の概要	１ 研究の仮説 ① 意見の持たせ方や、発表のさせ方を工夫すれば、自分の意見を持ち、根拠や理由を添えて他者に意見を伝えることができるであろう。 ② 意見の聞き方や捉えさせ方を工夫すれば、共感的に多様な考えを受け入れ、比較し、他者の考えを自分の考えに反映させたりすることができるであろう。 ③ 学習したことを振り返る場や活用できる場を与えれば、身に付けたことを日常生活に生かすことができるであろう。 ２ 研究の内容 〈道徳授業の工夫〉 ・道徳的価値の分析・分析の工夫 ・学習指導過程の工夫（心情追求型・価値追究型・問題解決的な学習・体験的な学習など：発達の段階、子どもの実態、ねらいに応じて） ・発問・対話活動の工夫（聞き方「あいうえお」の活用など） ・ノート・ワークシートの工夫 ・評価の在り方 〈道徳教育の充実〉 ・道徳教育全体計画・道徳教育目標・重点指導項目の見直し ・年間指導計画作成（平成30年度教科書に合わせて） ・別葉の作成（道徳科と様々な教育活動との関連を図る） ・各教科・特別活動との関連（話合い活動・係・委員会活動等の充実） ・道徳教育の学習環境整備（教室・学校内の設営・掲示の在り方）				

都道府県名	48 鹿児島	学校名	南九州市立青戸小学校	校　長　名	大久保　隆　志
学校所在地	〒891-0705 鹿児島県南九州市頴娃町上別府4541番地			電話番号	0993－39－0001
最寄り駅	指宿・枕崎線　喜入駅　（バス30分）			ＦＡＸ番号	0993－39－0006
指定の種類	区市町村教委	研究期間	平成27年度～28年度 ２年間	研究発表日	平成 28 年 6 月 28 日
研究テーマ （サブテーマ）	主体的に関わりながら、学ぶ、高め合う青戸っ子の育成 ～全教育活動で意図した道徳教育の推進と道徳の時間の工夫～				
研究の概要	１　全教育活動で意図した道徳教育を推進するために ・道徳教育の全体計画に見直し、改善と年間指導計画・別葉の作成 ・ねらいを明確にするための道徳の時間の工夫 ・発達段階に応じた目標、重点内容の設定 （H27, 28　重点内容項目「思いやり、親切」「感謝」） ２　１時間１時間の道徳の時間を大切にする授業の確立 ・補充、深化、統合する道徳の時間の指導の工夫 （「価値理解」「人間理解」「他者理解」「自己理解」の意識化） ・指導内容の重点化 ・学習問題の設定 ・言語活動の充実（対話活動等） ・書く活動の重視（道徳ノート活用）　等 ３　道徳科完全実施への移行期間における取組と学び ・小学校学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」の共通理解 ・道徳科のキーワードの把握　等				